

徳島県立徳島商業高等学校（商業）

地域の魅力を世界へ発信できるグローバルプロデューサーを育てるため、カンボジアとの国境を越えた商品開発や用途開発型フェアトレード、徳島県南部における地域との協働による地域特性を生かした観光資源開発に取り組んでいます。

（担当教科調査官コメント）

ビジネスを担う当事者の視点をもって地球規模で経済社会を捉え、商品開発やフェアトレードを行う実践的な学習活動などを通して、グローバルな視点をもった地域のビジネスを担う人材を育成しています。



昭和学園高等学校（看護） ※5年指定

社会人基礎力を備え、地域社会に貢献できる看護師の育成を目指し、「豊かな人間性」「課題解決能力」「社会参画力」の3つの柱に沿った様々な取組を行っています。高校での取組と身に付いた力を活かして、日田弁版ラジオ体操動画などを制作し、地域住民の運動習慣改善への働きかけを行っています。

（担当教科調査官コメント）

昭和学園高等学校は5年指定のため、今回は中間発表となります。様々な臨地実習で関わる地域の人々の健康状況に課題を感じ、生徒が自分達にできることを模索しながら、計画力や創造力を高め、地域や高齢者に応じた課題解決に取り組んでいます。



平成29年度 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 成果発表会



○会場

文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂
（東京都千代田区霞が関3-2-2）

○参加申込方法

都道府県・政令指定都市教育委員会等関係者や学校関係者、教員等を参加対象者とさせていただきます。事前申込制となっておりますので、開催案内の出席者登録票に必要事項を御記入の上、平成30年1月12日（金）までにメールにてお申込みください（会場規模の関係上、人数を調整させていただきます場合があります）。



（お問合せ先）文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電話 03-5253-4111（内線2904） メール sansin@mext.go.jp

日時：平成30年2月5日（月）10：00～16：30

※9：30から受付

会場：文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

発表校（平成27年度指定校）の紹介

山形県立加茂水産高等学校（水産）

「海を活かす人づくり」で海・船・水産物のプロフェッショナルとして地域に貢献できる人材の育成を、「海を守る人づくり」で豊かな海を継承するための環境保全と水産振興に取り組むことができる人材の育成を、「海を興す人づくり」では地域の漁法や食文化の伝承と、新たな水産物流通や消費者ニーズに対応できる人材の育成を目標にした取組を行っています。

（担当教科調査官コメント）

メタンハイドレート探索や窒素水による鮮度保持、加茂水族館との連携、新製品開発等、実習船の活用や地域課題の解決を通して、水産業の発展と地域社会に貢献できる教育プログラムを数多く実践しているのが特徴です。



栃木県立宇都宮工業高等学校（工業）

国際的にも活躍できる人材の育成を目指し、専門性を高めるための広い視野をもち、高度な技術を身に付けさせるため、鹿沼沼子による耐力壁の研究、外国人講師とのチームティーチングによる授業など、学科の特質を生かして次世代を担うグローバルエンジニアを育成する教育プログラムを開発し実践しています。

（担当教科調査官コメント）

地域産業界や研究機関などと連携して、社会で役に立つ製品の実現に向けて研究するなど、より実践的なものづくりに取り組みました。研究成果を生かして、今後も地域と一体となった更なる工業教育の振興に期待がもてる研究です。



千葉県立千葉工業高等学校（工業）

課題解決力やグローバルな視点を身に付けた人材の育成を目指し、産学官で連携して高度な先端科学技術に関する研究や、外国人の博士研究員とのチームティーチングによる授業に取り組むなど、学科の特質を生かして社会や地域のニーズにも応える「ものづくり」に挑戦する教育プログラムを開発し実践しています。

（担当教科調査官コメント）

タスクマネジメント能力などを育成し、機動性の高い飛行機を研究開発するなど、より実践的な技術力を身に付けるためのものづくりにも取り組みました。大学・企業との連携による更なる工業教育の振興に期待がもてる研究です。



福井県立若狭東高等学校（農業）

農業を中核に商業・工業と融合した産業を創り、「地域資源を活かし売れる商品をつくるテクノアグリ」人材を育成するため、薬用植物の産地化、植物工場など高度な施設園芸、経営やマーケティング、技術開発など「生産・調理・加工・販売」に総合的に取り組める力を身に付ける研究を実践しています。

（担当教科調査官コメント）

特徴は、地域農業の振興へ向けた薬用植物「コウギク」の導入や人工光による植物栽培の基礎研究並びに、未利用資源の探索から商品開発までの研究です。特に、人材育成に関する学校設定科目について注目してください。



スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校においては、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組と実践研究が行われています。指定校の優れた教育実践とその成果を普及することで、専門高校全体の活性化を目指しています。

岐阜県立大垣桜高等学校（家庭）

服飾デザイン科では、ファッションビジネスリーダーやグローバルファッションクリエイターの育成を目指し、命を守るファッションとアイテムの開発・普及、ぎふ・長良川鶴鯛装束やUkaiコレクションを提案。食物科では、フードクリエイターの育成を目指し、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や地域の食材を使った商品を開発し販路の開拓等に取り組んでいます。（写真は反射材を取り入れたファッションを披露している様子）

（担当教科調査官コメント）

国際的な視野をもつグローバルクリエイターの育成を目指し、地域の伝統文化や産業に着目したオリジナルテキストの開発、英語版レシピの発信などに取り組まれました。地方創生につながる教育プログラムとして注目してください。



名古屋市立名古屋商業高等学校（商業）

『Think Globally, Act Globally. ～世界ハ我市場ナリ～』をテーマに、「思考力、表現力、判断力を身に付け、専門的な知識や技術を応用・活用できる人材」の育成を目指し、「職業バカロレアの試験手法」の導入及び「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業改善に取り組んでいます。

（担当教科調査官コメント）

「職業バカロレアの試験手法」を導入し、職業の場面を想定した問題設定を行い、解決策を探究する学習活動などを通して、唯一絶対の答えのない経済社会で活躍する力を育成しています。



大阪市立淀商業高等学校（福祉）

超高齢社会に対応するために、介護福祉士に関する専門性の強化とその専門性を活かして他の専門分野である大学や企業等と共創した「ICTを活用した介護技術の向上」「介護のグローバル化」「介護ロボットの活用」等の取組による新たな価値が創造できるバリュークリエイターの育成をめざした実践活動を報告します。

（担当視学官コメント）

超高齢社会を支える福祉・介護人材を養成するため、「専門性の強化」と「専門分野との共創・発信」を柱に大学・社協・施設・企業とともに多彩な取組を実施し、生徒の成長を促し地域の福祉力向上に貢献した教育実践です。



広島県立庄原実業高等学校（農業）

過疎化、高齢化の進む地域において、地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる人材の育成を目指す学習プログラムの開発、キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究並びに地域組織及び人材育成システムの構築へ向けた実践に取り組んでいます。

（担当教科調査官コメント）

特徴は、体系的・系統的な学習プログラム開発と実践、庄実版キャリアノートの活用と人材育成システムの構築等による事業展開です。特に、生徒の目標を明確にしたポートフォリオの導入やその評価について注目してください。

